

## 夏播き用極早生えん麦

# たちあかね

耐倒伏性に極めて優れる品種です。  
冠さび病抵抗性も「極強」です。  
トウモロコシ、早期水稻後の秋作に最適です。

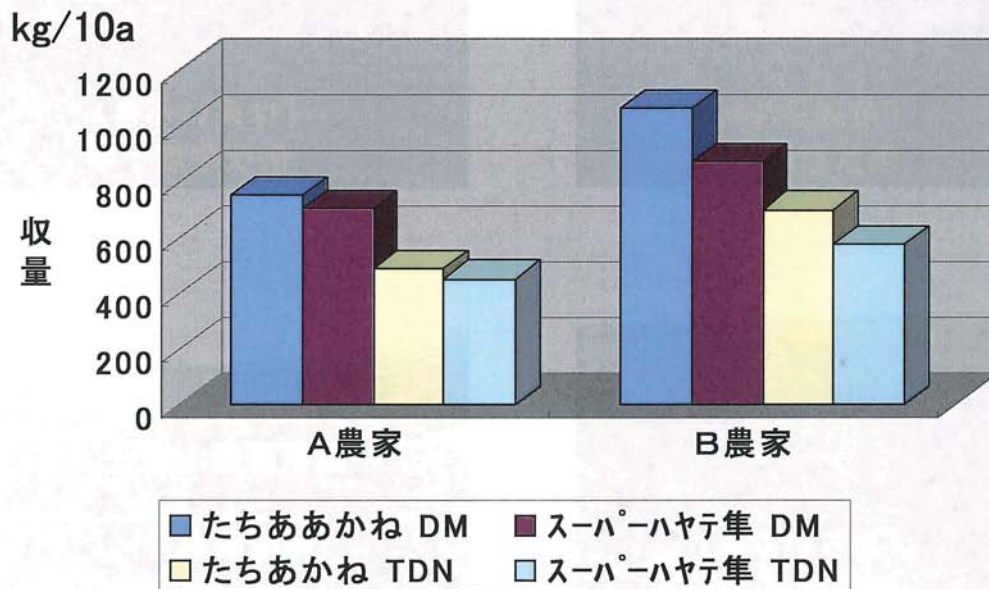


宮崎県で観察された同一圃場における倒伏程度の品種間差（2006. 12. 13撮影）

### 栽培指針

1. 播種期：各地域の慣行に準じますが、適期播種が重要です。西南暖地では8月下旬から9月上旬が播種適期で、霜害回避のため9月下旬～10月中旬の播種は避けるべきです。
  2. 播種法：播種量は、10a当たり6-8kgを基準とします。ブロードキャスターによる散播が可能です。播種後、軽い表層ロータリーで覆土し、鎮圧を行います。
  3. 施肥量：各地域の慣行に準じますが、10a当たり堆肥2～3トン、苦度石灰60～100kg、三要素を成分で7～10kgを目安とします。
  4. 栽培管理：水田裏作や転換畑においては滞水しないようにします。
1. 収穫期：刈取りは乳熟期を目安としますが、利用の目的にあわせた作業を行います。12～1月にかけて収穫作業が終了し、次の春作に向けた、堆肥散布等の作業が余裕をもって行えます。

## 「たちあかね」の試作栽培結果（2005年、宮崎県）



### 試作された農家の方の感想

「たちあかね」は「市販品種A」より耐倒伏性に優れていたため、作業面で優れている。

（宮崎県中部農業改良普及センター）

品種特性についての問い合わせ先： 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 飼料作物育種グループ  
電話 096-2424-7754、FAX 096-249-1002